GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人
# 群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」　第151号　2023年1月発行

## 巻　頭　言

## 第7回北関東信越ブロック学会及び第24回群馬県作業療法学会のご報告

実行委員長／訪問看護ステーションまつかぜ　**小此木諭**

covit－19の第8波の入り口と思われる状況下、11月26日･27日と第7回北関東信越ブロック学会及び第24回群馬県作業療法学会を開催致しました。感染対策を講じた上での開催となりましたが非常に多くの方が参加して下さりました。

本学会は「これからの社会と作業療法～群馬で考える作業療法のnext　stage～」というテーマでした。役員では対面式での開催を計画しており、メインテーマである「みんなで楽しく繋がルンルン」を掲げていました。学会長講演や日本作業療法士協会中村会長をお招きした教育講演ではテーマに合わせて、「これからの社会と作業療法」について教育や協会の取り組み、法制度、作業療法について様々な観点からご講演を頂き貴重な体験が出来たと感じます。ワークショップでは群馬県作業療法士会の各部署や委員会の活動や取り組みを、ディスカッションや体験を通じて知ること、一般演題は各セッションで活発な質疑応答があり、対面式でしかできない熱量を感じることができたと思います。北関東信越ブロック学会ならではの特別シンポジウムでは各士会の会長、副会長から各士会の組織作りや活動を発表していただき課題や地域作りについて情報共有やディスカッションがありました。北関東信越地域の作業療法の発展に繋がるようなシンポジウムでした。また、各会長･副会長も久々の対面でとても和気あいあいとした雰囲気が印象的でした。市民公開講座では参加型の講座となって、学生や遠方から一般の方の参加もあり盛況であったと思います。

同級生や恩師、先輩･後輩と久々に顔を合わせた再会があり、会場には笑顔が溢れていました。まさに「みんなで楽しく繋がルンルン」が出来たのではないでしょうか。本来であれば懇親会などのお楽しみ交流も考えていましたがそれは次回の機会に。

約1年半前より山口学会長を中心として市川事務局長、学会運営の「影のドン」野口グループ長と協議を重ね、多くの実行委員の皆様や関係の皆様のお力添えいただいたおかげで無事に終了することができました。心よりお礼申し上げます。当日参加された方、オンデマンド配信での参加の方、各講師の先生方、前橋観光コンベンション協会の方々、多くの皆様方にご支援ご協力賜りましたことに感謝を申し上げます。

covit－19は未だ収束せず、世界情勢も不安定な世の中ですが、我々作業療法士がこれからの社会にとって必要不可欠であるために、どうすればよいか考えていかなければならないと思います。次年度は西毛ブロックが中心となり、きっと「みんなで楽しく繋がルンルン」の先、next stageになった学会になる事と思います。最後に繰り返しとなりますが、皆様のご支援とご協力を賜りましたことを重ねて感謝申し上げます。

# 群馬県作業療法士会 令和4年度第3回理事会議事録

**日　時：**2022年9月28日(水) 19:00 ～ 20:30
Zoom使用でのリモート会議
**参加者：**新井、関根、山口、柴田、石森、市川、李、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、長谷川、山浦、唐澤、高橋　16名

## Ⅰ. 各部議事

### 1. 教育部［報告者：勝野］

**【報告事項】**

1）ブロック長会議　コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。9/14にzoomにてリモート会議実施。

【検討議題】

①現職者共通研修・選択研修、基礎ポイントについて
「事例報告と事例研究」日時：2022年10月5日
講師：近藤OTR
「保健・医療・福祉と地域支援」日時：2022年11月24日
講師：真塩部長
「作業療法における協業・後輩育成」日時：202年12月6日
講師：都丸理事
「実践のための作業療法研究」日時：2023年1月20日
講師：李理事
「日本と世界の作業療法の動向」
日時：2023年2月で日程調整中　講師：新井会長
「身体障害領域」日時:2022年12月11日
講師:宮寺OTR、糸井OTR、藤井OTR、石森理事
「基礎ポイント研修　脳卒中上肢機能評価について」
日時：2022年11月8日・15日
講師：近藤OTR、荻原OTR、佐藤OTR
「基礎ポイント研修　自動車運転支援(仮)」
日時：2023年1月26日(予定)　講師：原OTR

②令和5年度 新人症例発表会について
日時：2023年7月23日にオンラインにて開催予定
統括：登山ブロック長
年度末までに申し込み案内を作成し、アナウンスを開始予定。

2）研修会報告
「令和4年度新人症例発表会」日時：2022年7月24日
事例発表者：49名　事例検討者：12名
「作業療法生涯教育概論」日時：2022年8月28日
講師：柴田副会長　参加者：22名
「職業倫理」日時：2022年8月28日
講師：長谷川副事務局長　参加者：19名
「作業療法の可能性」日時：2022年9月7日
講師：山口副会長　参加者：33名

3）その他
①peatixについて
peatixのアカウントを管理しているメンバーが現在2名。
あと1名追加なので、管理できる人材を増やす。
②受講名簿について
SG長へ受講名簿を提出する際は、協会で使用しているExcelデータを使用することを徹底する。
③来年度の基礎ポイント研修について
発達支援Gで「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会」の開催を予定している。基礎ポイント研修に値する内容であり、来年度の基礎ポイント研修の1枠として教育部も運営に協力する。

**【審議事項】**

1）臨床実習指導者研修について
他県士会も養成校連絡協議会がある県は連絡協議会が臨床実習指導者研修の運営をしている。学生に関わる研修であり、受講名簿も養成校連絡協議会がOT協会へ送る流れができている。教育部主催ではなく、現状の養成校連絡協議会主催が望ましいと考える。

### 2. 学術部［報告者：李］

**1）学術研究グループ**

**【報告事項】**

①22年度学術部勉強会（学会支援企画）を3回開催した。
②北関東信越ブロック学会の査読管理業務を実施した。

**【審議事項】**なし

**2）学会支援グループ**

**【報告事項】**

①第7回北関東信越ブロック学会、第24回群馬県作業療法学会の運営支援（HP運営、Facebook管理）を行った。
②群馬県作業療法学会Instagramの開設を行った。
③群馬県作業療法学会の参加申し込みをPeatixを用いて作成した。

**【審議事項】**なし

**3）機関誌編集グループ**

**【報告事項】**

①機関誌「ぐんま作業療法研究vol.25　2022」について、査読業務終了。学会誌と合併での印刷業務を進行中。ゲラ刷り依頼している。校正作業を行い、10月下旬での納品目標。
②学会ポスターの印刷を進行中。ゲラ刷りの確認終了し、本刷りを依頼。10月初～中旬での予定。

**【審議事項】**

①学会誌を当日会場にて販売することの是非、その際の販売価格について。（高崎での学会の際は500円）→販売は可。価格/500とする。

### 3. 広報部［報告者：都丸］

**【報告事項】**

**1）公益事業グループ**

① 8月9日に高校生を対象にオンラインでの職業体験イベント「作業療法を知ってみようを」開催。作業療法士5名、高校生2名に参加。内容は作業療法の領域別のビデオ視聴、作業療法士との対話を実施致。対話ではチャットを使用し質問にお答えする形式をとった。次年度も継続して行えるよう部会で検討していく予定。（報告書別添）

**2）ニュース編集グループ**

①10月号の発行準備中。巻頭言について依頼先に困っているが概ね順調に進んでいる。
②次号は年明けの1月号。年末年始になり印刷会社様も対応に追われてしまうので、掲載依頼等ある場合は12月中に連絡をお願いします。

**3）広報企画グループ（グループ長：金子）**

①公益事業Gと合同で、今年度の活動も実施。必要な情報収集等を実施している。

**【審議事項】**なし

## 4. 地域作業療法推進部［報告者：高坂］

**【報告事項】**

**1）地域包括ケア推進グループ**

①8月3日に関東ブロック会議がオンラインで開催され、高坂理事、山口G長の2名が参加した。

②8月4日地域包括ケア推進グループの定例会を実施した。

③8月26日に講師の相澤病院矢野目英樹先生をお招きし、「地域包括ケアシステムにおける他職種連携の課題～目標共有と互いの役割解放と共有～」をテーマにナイトセミナーを開催。参加者は47名であった。（作業療法士32名、主任CM5名、管理栄養士4名、介護支援専門員2名、看護師・言語聴覚士・社会福祉士・大学助手それぞれ1名）

④10月29、30日の2日間に渡り、日本作業療法協会地域包括ケア推進委員会主催によるハイブリット形式での研修が予定されている。

**2）認知症支援推進グループ**

①世界アルツハイマー月間（9月）の広報資料を県士会HPに掲載した。

②8月26日付で、日本作業療法士協会に「認知症に関する士会活動報告」を提出した。

③栗原，吉田を中心に，生活の質ワンポイントアドバイスを制作している。9月22日の4グループの企画調整会議で内容をすり合わせる予定である。

④令和4年9月22日付で、令和5年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業（介護分）の要望書を県の介護高齢課に提出した。

**3）精神科領域推進グループ**

①9/2（金）19：30～第3回会議を実施した。

②生活の質向上のためのワンポイントアドバイスについて、担当者が作成した原案の内容や言葉遣いなどをグループ員で検討した。9/22（木）の4グループ会議に提出予定である。

③広報を行ったソーシャルバスケットボールキャラバンが8/7（日）に開催された。群馬県内からの参加者は少なく、精神障害の当事者の割合も少なかった。

④群馬県地域自殺対策強化事業について、講師検討中である。

⑤R4年度第1回情報交歓会を9/2（金）19：30～開催した。テーマは「病院から始める就労支援」で、参加者は14名。終了時アンケートを実施した結果、参加者のほとんどから内容に関して概ね満足との回答を得られた。

**4）発達支援推進グループ（報告者:勝野）**

①7月14日（木）、8月23日（火）に研修会企画委員会議をオンライン開催した。

②8月5日（金）幹部会議をオンライン開催した。

③9月3日（土）18：00～20：00に外部講師研修会を開催した。新型コロナウィルス感染拡大のため全面オンラインでの開催とした。講師は酒井　康年氏（うめだ・あけぼの学園／日本作業療法士協会常務理事）研修会テーマ『子どもの暮らしと作業療法～未来を見据えた支援～』。申し込みは60名あり、当日参加者は53名（県士会員37名　他県士会員15名　学生1名）。他県士会員のみ参加費が発生したため合計40,803円（振込手数料等除く）の収入となった。参加者アンケートでは概ね満足度が高く、他県士会員からも好評であった。

④北関東甲信越ブロック学会、県学会のワークショップの抄録提出を行った。テーマは『発達支援推進グループ後進育成について～保育士等研修会スタッフアンケートより～』講師は六本木G長の予定である。

5）全体として

9月22日地域作業療法推進部合同で第3回生活の質向上のためのワンポイントアドバイスに関する会議を実施した。

**【審議事項】**

**1）地域包括ケア推進グループ**

主催した研修会の講義内容の録画について審議。研修運営にあたっていると講義内容を聴講できない、参加者から「動画配信ができないか？」等の問い合わせもありオンデマンド配信も検討したい。

検討・録画をするには講師許諾と参加者へ録画をする旨の同意を行う必要あり。

・オンデマンド配信の範囲は全体？スタッフのみ？

・またオンデマンド配信はポイントにはならない。

**2）発達支援推進グループ**

発達Gの定期勉強会へ学生参加が増えている。そこで発達Gメーリングリスト（登録無料　六本木G長管理）にOT学生の登録をしてもよいか伺いたい。研修会情報の他に県内の発達関係の求人情報も流すため学生にとっても有益だと考える。現在は高坂理事に研修会情報のみお伝えし養成校へ情報を流していただいている。　→　承認

## 5. 地域局

**【報告事項】**

**1）北中毛ブロック（報告者:小此木）**

①川場村より地域ケア個別会議に県士会からOTの派遣依頼。地域で訪問業務に従事している小此木の派遣を希望。

初回は11/22（火）13：30～の予定。

メンバーは川場診療所医師、薬剤師、群馬県とRHはOTのみ

**2）西毛ブロック（報告者:山浦）**

①第3回医療介護フェスティバルin高崎

9月上旬に行われた撮影会に山浦が参加した。動画はフェスティバルHP上に掲載予定。

**3）東毛ブロック（報告者:今村）**

①あずまミーティング　10/20

グラーチアの中島さんが作成中 10月6日の頭に打合せ予定。

**【審議事項】**

1）北中毛ブロック

川場村の地域ケア個別会議へのOTの派遣の可否について

→　承認

## 6. 第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会［報告者：山口］

**【報告事項】**

1）運営に向けた準備

・役員会議：随時実施、実行委員会：5回実施（第6回は22/10/07を予定）

・進行：概ね予定通り。抄録若干遅延。29演題(うち6演題が県外)。

・懸念事項は感染症拡大だが、現状では対面を基本として考えている。

**【審議事項】**

1）補正予算のお願い：補正額150千円

背景：学会予算は通常年度通りの600千円となっているが、県外講師の旅費増加やワークショップ講師数の増加、WEB申込管理手数料などが予想以上となり、また感染症の状況から参加者数の伸び悩みリスクも考えた場合、150千円弱の不足が予測される。（根拠となる計算書は、当日画面共有にて提示）

→　承認

2）学会の運営形態について
　現時点では、対面を前提として進める（申込者のみ一部講座のみオンデマンド配信）ので良いか？承認されれば　学会HP上からPeatixにて申し込み手続きを理事会後から開始　→　承認
3）その他
　学会運営に際して利用する書式や公文書など、在り方の見直しや学会開催ごとに差異が生じない工夫なども学会支援Gと併せて検討しながら準備を進める。

### 7. 運転と作業療法特設委員会［報告者：李］

**【報告事項】**
1）2022年10月1日（土）に「ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会」と合同でzoomにて世話人会を実施する。
【審議事項】なし

### 8. 養成校連絡協議会［報告者：高坂］

**【報告事項】**
令和4年9月3～4日に前橋医療福祉専門学校を主幹校として第1回臨床実習指導者講習会を開催した。
受講者は38名であった。

### 9. 福祉用具委員会［報告者：石森］

**【報告事項】**
1）福祉用具相談支援システムの県士会員登録状況
　令和4年9月28日において、福祉用具相談支援システムの登録者数は32件、相談件数は0件。10月発刊のニュースにて、県士会員へ福祉用具相談支援システムお役立ち通信Vol.4、福祉用具の日クリアファイル（1会員に1枚）を郵送し、登録者数の増加をはかっていく。
2）令和4年度補装具費支給制度書面ヒアリング
　日本作業療法士協会を通じて、厚生労働省　障害保健福祉部 自立支援振興室より、補装具費支給基準告示の次期改定に向けての書面ヒアリングがあった。各ブロック長を通じて県士会員より意見を募ったが、意見がなかったため、群馬県作業療法士会からの意見提出は見送りとした。
3）福祉用具関連の研修依頼への対応について
　邑楽郡邑楽町福祉介護課より、福祉用具についての研修会依頼があり、令和4年9月20日に実施した。
　講師は美原記念病院 石森卓矢。
**【審議事項】**特になし

### 10. 事務局

**【報告事項】**報告者 高橋
1）9/2より新事務局員　繁野様が入職されました。よろしくお願いいたします。
2）広域代金回収サービス（年会費引き落とし）CD-RWでのデータ持ち込みに関して試行し、無事データのやり取りができました。
3）会員名簿が9/30日納品、来月初めに郵送予定。部員等の委嘱状も同封予定。
4）10月末頃ニュース発送予定。同封希望のものがありましたら事務局へ中旬までに連絡をお願いします。
**【審議事項】**報告者 長谷川
1）メール問い合わせの対応について
　研修会ポイント等の生涯教育に関連する問い合わせについては、教育部担当者へメールを直接転送することについて→承認(理事会後教育部にて検討)
2）求人案内の取扱について
　当会で求人案内に関するHP掲載の可否について→有料での掲載可。料金の規定や掲載期間、について本年度中にまとめる。

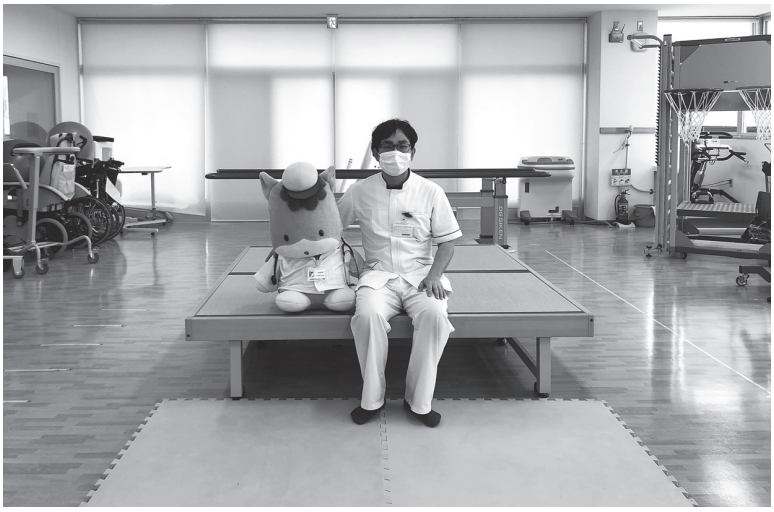
# 施設紹介

## 群馬県立がんセンター

群馬県立がんセンターは太田市南部の群馬県と埼玉県の県境近くに位置しております。昭和30年頃、結核予防対策の一環として設置された「群馬県立東毛療養所」に始まり、平成10年に本県がん対策の中心的役割を果たすため「群馬県立がんセンター」と改称され現在に至っています。平成26年には緩和ケア病棟が併設されました。

当センターは太田地域のがん診療連携拠点病院となっており、病床数は314床、緩和ケア病棟は25床あります。診療科は18科、2年程前には骨軟部腫瘍科が新設されました。骨軟部腫瘍科において化学療法から手術まで行える県内で唯一の病院であり、県内外から多くの患者が来院しAYA世代の患者も増えてきております。リハビリテーション課は平成27年に立ち上げとなり、現在はPT2名、OT1名にて診療を行なっております。マンパワーが少ないため基本的には診療科ごとの担当制ではありますが、患者が多い科にフォローに行くなど、臨機応変に対応しています。OTは主に乳腺科、婦人科、消化器外科、泌尿器科、骨軟部腫瘍科、血液内科、緩和ケア科など周術期～緩和期における病期の患者を担当しています。乳腺科や消化器外科はクリニカルパスにリハビリが組み込まれており、患者一人一人の介入時間や頻度は少ないですが、手術予定の患者すべてに介入しています。また緩和ケア病棟の入院患者に対しても作業療法介入をしております。当センターの緩和ケア病棟は症状コントロールを積極的に行い、在宅療養への移行を支援する急性期型の特徴を有しており、平均在棟日数も約3週間ほどです。そのため、緩和ケア病棟におけるOTは症状緩和だけではなく、在宅移行支援も多職種と連携しながら積極的に介入しております。また現在は実施できておりませんが、コロナ禍以前は緩和ケア病棟にて夏祭りやクリスマス会などでレクリエーションや手工芸等も実施しておりました。

当センターのリハビリテーション課は歴史も浅く小規模であるため介入の限界はありますが、「小さなことからコツコツ」と出来ることを積み上げ、地域のがん患者を支える一助になれればと思います。よろしくお願い致します。



## 訪問看護ステーション
## 花あかりで働くPT・OTを大募集!!

**職員の産休に伴いリハビリスタッフを増員!女性セラピストを積極採用!**
訪問看護ステーション花あかりでは、看護とリハビリが連携しながらきめ細やかな在宅支援を行っています。生活に必要な医療保険・介護保険のリハビリに加え、自費リハビリや保険外のサービスまで、かゆい所に手が届くサービス事業所を目指しています。現在、看護師8名、PT・OT6名の14名体制(男性3名、女性11名)で桐生市を中心に幅広く訪問看護を展開しています。
**花あかりでは子育て中の女性職員、女性セラピストも活躍中です!**
経験年数の浅い方も大歓迎!リスク管理、症状のとらえ方、フィジカルアセスメントまで経験豊富なスタッフが優しく教えます!アットホームな雰囲気で看護とリハビリも和気あいあいです。見学・面接は随時行っていますので、お気軽にお電話ください。
訪問に興味があるセラピストの皆さん、是非一緒に働きませんか?

◎募　　集　理学療法士、作業療法士
◎勤務形態　正社員(非常勤は要相談)
◎勤務時間　8:30～17:30、週休2日、年末年始
◎給　　与　年俸380～450万円(経験加算あり、各種手当別途、各種認定資格保持者優遇します)

**訪問看護ステーション花あかり**
〒376-0121
群馬県桐生市新里町新川715-11
ファミリアイマイE号室
TEL:080-3003-0724
採用担当:村井まで、「ニュース求人をみました」とご連絡ください

## 投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や
日常業務で工夫している点、こんな研修会に
参加した･･･などなど、皆様からの投稿を
募集しております。
どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス：koha.yuu@yahoo.ne.jp
広報部･ニュース編集グループ
反町拓海

**県士会ホームページアドレス**
**http://www.gunma-ot.org/**

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。あっという間の新年を向かえた様に感じていますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？本年もニュースを通し、情報発信を行なうとともに更なるブラッシュアップが行えるよう努めたいと思っております。
本年も広報部ならびにニュースの方をよろしくお願いいたします。

S

群馬県作業療法士会ニュース

発 行 者‖新井　健五
発 行 所‖群馬県作業療法士会事務局　〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号　TEL･FAX 027-224-4649
編集代表‖反町 拓海　　編集委員‖関　仁紀、下田　幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅　　印刷‖星野印刷株式会社